



感染性胃腸炎の予防 手をよく洗いましょう!

平成 30 年 12 月 12 日
 富山県感染症情報センター
 (0766-56-5431 直通)
 (0766-56-8142 細菌部)
 (0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 49 週分・12 月 3 日～12 月 9 日)

《 インフォメーション 》

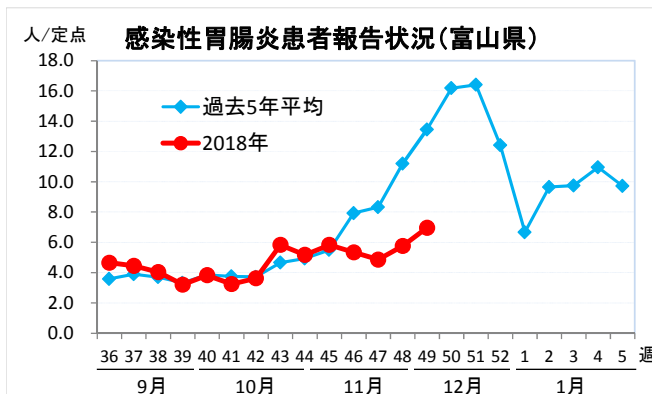
● 感染性胃腸炎

今週、県内の感染性胃腸炎の報告数が定点医療機関あたり 6.97 人となりました。

感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの病原体による下痢、おう吐を主症状とする感染症の総称で、毎年冬に流行します(図参照)。これから患者数が増えてくると思われますので注意が必要です。

冬季に発生する感染性胃腸炎の多くは、ノロウイルスによるものであると推測されています。

ノロウイルスは手指や食品などを介して経口で感染します。高齢者施設や保育所等での集団感染や、飲食店等での食中毒には特に気をつける必要があります。患者の便や吐ぶつには大量のウイルスが存在するため、感染を広げないように適切に処理する必要があります。また、症状が無くてもウイルスを排出している場合もあります。**感染予防の基本は手をよく洗うことです。** 次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を予防しましょう。



- 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗う。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。
- ふん便や吐ぶつは、マスク・手袋を着用し塩素系消毒剤等で処理し、感染を広げない。
- 加熱が必要な食品はしっかり加熱(中心部が 85℃～90℃で 90 秒以上)して食べましょう。

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 1 件 (90 歳代、男性)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 件 (①第 48 週診断分：60 歳代、男性
②80 歳代、男性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件 (第 47 週診断分：80 歳代、男性、G 群)

侵襲性インフルエンザ菌感染症 2 件 (①50 歳代、女性 ②60 歳代、男性)

侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (第 48 週診断分：80 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	6.97 (↑)	5.76
2 位	インフルエンザ	2.29 (↑)	1.54
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.45 (↓)	1.97
4 位	咽頭結膜熱	1.38 (↑)	1.34
5 位	手足口病	1.34 (↑)	0.97
6 位	R S ウイルス感染症	0.86 (↓)	0.93

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第49週 平成30年12月3日～平成30年12月9日）

分類	疾患	今週報告分（第49週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核					1	1	11	13	55	22	89	190	
三類感染症	細菌性赤痢										1		1	
	腸管出血性大腸菌感染症							3	4	4	3	11	25	
	パラチフス											1	1	
四類感染症	E型肝炎							1		1	1		3	
	A型肝炎											4	4	
	つつが虫病							3				1	4	
	デング熱										3		3	
	レジオネラ症							4	1	8	4	24	41	
五類感染症	アメーバ赤痢										1	1	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1			1			5		13	18	
	急性弛緩性麻痺										1		1	
	急性脳炎							2		1	1	2	6	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4	1	7	2	6	20	
	後天性免疫不全症候群											1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					2	2	2		2		4	8	
	侵襲性肺炎球菌感染症							3	3	8	4	18	36	
	水痘（入院例）							2		2	1	3	8	
	梅毒									1		12	13	
	播種性クリプトコックス症											3	3	
	百日咳								2			9	12	
	風しん									4	1	5	10	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	3	8	15	1	83	110	2,235	1,849	3,507	2,456	5,541	15,588
			0.43	1.60	1.15	0.14	5.19	2.29						
RSウイルス感染症		2	4	4	5	10	25	81	46	306	139	750	1,322	
		0.50	1.33	0.50	1.25	1.00	0.86							
咽頭結膜熱		2	1	18	6	13	40	250	82	341	71	345	1,089	
		0.50	0.33	2.25	1.50	1.30	1.38							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	10	13	3	13	42	174	150	655	234	909	2,122	
		0.75	3.33	1.63	0.75	1.30	1.45							
感染性胃腸炎		29	24	43	30	76	202	1,371	939	1,530	283	3,145	7,268	
		7.25	8.00	5.38	7.50	7.60	6.97							
水痘				1	1	10	12	23	6	106	63	148	346	
				0.13	0.25	1.00	0.41							
手足口病		3	4	9	10	13	39	17	24	135	195	160	531	
		0.75	1.33	1.13	2.50	1.30	1.34							
伝染性紅斑				3		2	5	7	4	99	44	51	205	
				0.38		0.20	0.17							
突発性発しん		1		5	3	2	11	64	51	226	61	167	569	
		0.25		0.63	0.75	0.20	0.38							
ヘルパンギーナ		4					4	133	117	333	106	286	975	
		1.00					0.14							
流行性耳下腺炎		1			1	2	4	8	11	22	5	46	92	
		0.25			0.25	0.20	0.14							
急性出血性結膜炎										2	14	1	17	
流行性角結膜炎		2		1			3	4	18	28	5	7	62	
		2.00		0.50			0.43							
細菌性髄膜炎												5	5	
無菌性髄膜炎											2	2		
マイコプラズマ肺炎								8	4	6	6	11	35	
クラミジア肺炎										1	3	4		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								3		4	2	7	16	
インフルエンザによる入院患者（*）				1	3	4					4	4	8	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

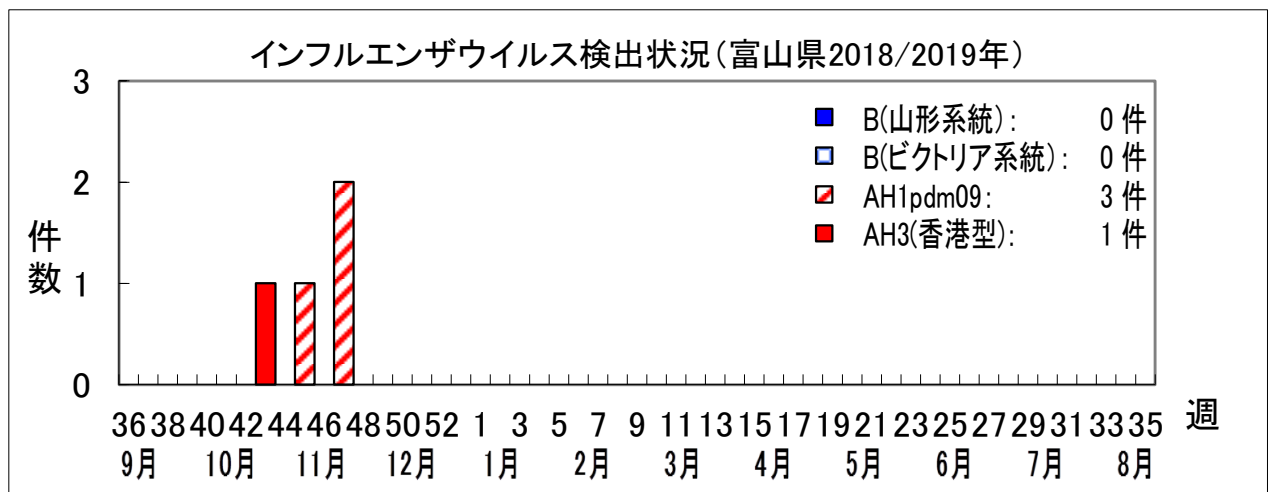
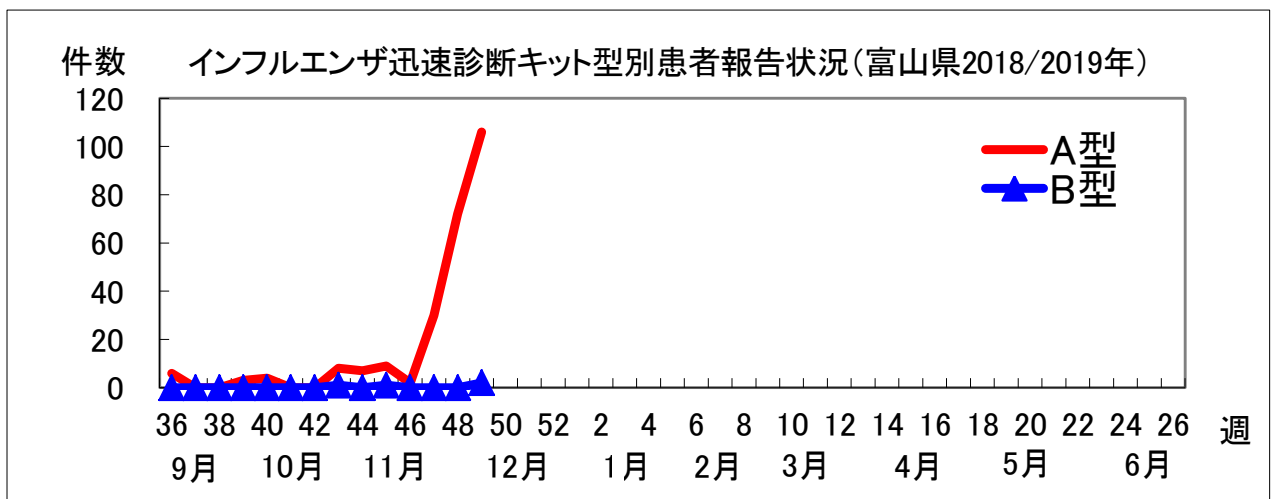
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が96.4%となっています。

第49週(12/3～12/9)：富山県 2.29人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ※2	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	3	0	0	3
中部	3 / 5	7	0	1	8
高岡	4 / 13	14	0	1	15
砺波	1 / 7	1	0	0	1
富山市	11 / 16	81	2	0	83
富山県	22 / 48 ※1	106	2	2	110
富山県累計(2018年36週～)		247	4	8	259

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が22か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





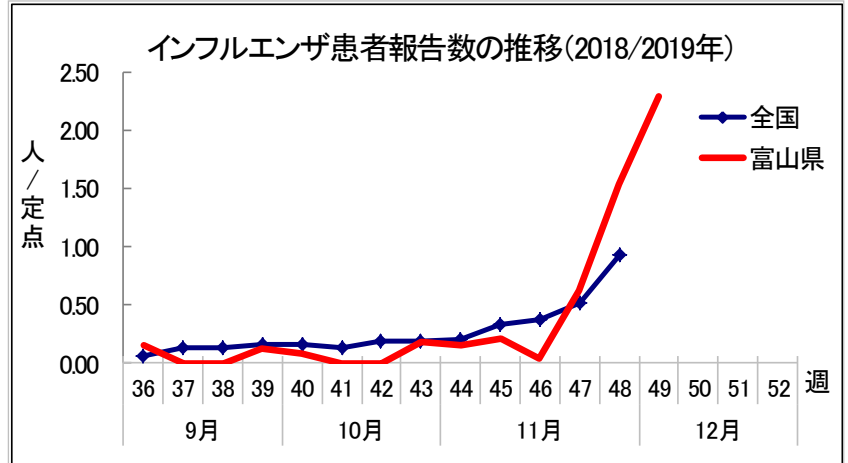
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 49 週 (12/3~12/9) : 富山県 2.29 人/定点

新川 HC (0.43)、中部 HC (1.60)、高岡 HC (1.15)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (5.19)

県内は第 48 週に定点医療機関あたり 1 人を超え、流行期に入りました。

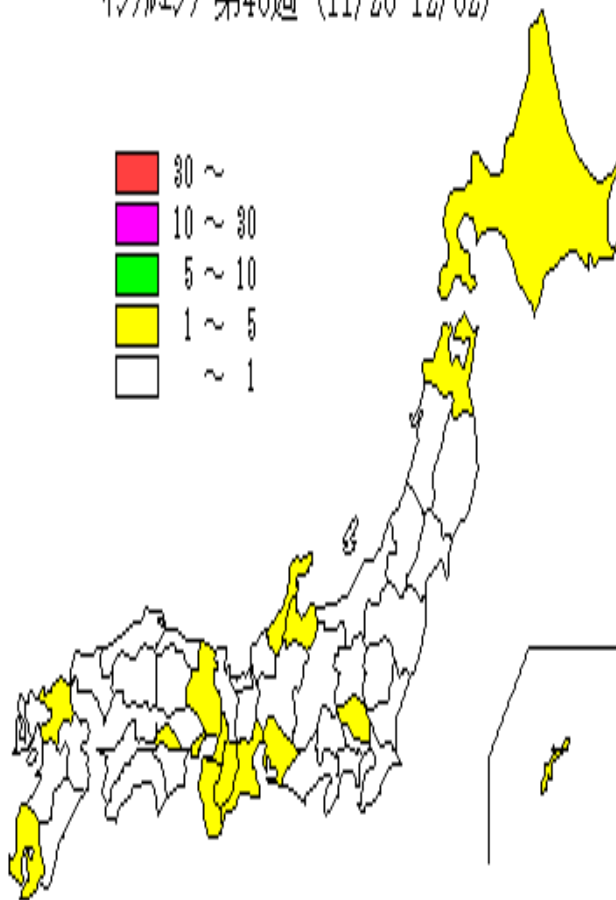
今後、しばらくは流行が継続することが予想されます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 48 週 (11/26~12/2)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.93 人となり、前週の 0.52 人より増加しました。43 都道府県で前週より増加しています。

インフルエンザ第48週 (11/26-12/02)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.21	滋賀県	0.47
青森県	1.71	京都府	0.57
岩手県	0.22	大阪府	1.25
宮城県	0.20	兵庫県	1.19
秋田県	0.41	奈良県	1.78
山形県	0.08	和歌山県	2.57
福島県	0.54	鳥取県	0.28
茨城県	0.83	島根県	0.34
栃木県	0.18	岡山県	0.71
群馬県	0.72	広島県	0.90
埼玉県	1.19	山口県	0.39
千葉県	0.82	徳島県	0.16
東京都	0.94	香川県	2.06
神奈川県	0.79	愛媛県	0.18
新潟県	0.91	高知県	0.21
富山県	1.54	福岡県	1.10
石川県	1.19	佐賀県	0.77
福井県	0.83	長崎県	0.59
山梨県	0.17	熊本県	0.86
長野県	0.91	大分県	0.59
岐阜県	0.83	宮崎県	0.31
静岡県	0.47	鹿児島県	1.66
愛知県	1.40	沖縄県	1.61
三重県	1.82	全国	0.93

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年11月分）

		11月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			2		8	10	3	4	20		85	112
				0.67		2.00	1.00						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症		2	1	1	1	5		8	5	2	15	30
			2.00	0.33	1.00	0.25	0.50						
	尖圭コンジローマ			1			1			4	13	13	30
				0.33			0.10						
	淋菌感染症			1		3	4			2		26	28
				0.33		0.75	0.40						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1		1	2	4	8	11	23	16	21	46	117
		1.00		1.00	2.00	4.00	1.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症					1	1	3		16	2	10	31
						1.00	0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。